

# 令和4年度 学校評価結果公表シート

学) 常盤学園 子どもの森幼稚園

本園では、令和4年度の学校評価として、教職員自己評価及び、学校関係者評価を実施致しました。教職員においては自らの教育・保育や園の運営状況を振り返る事で自園を見つめ直し、専門職として質の向上を目指す良い機会となりました。本年度の学校評価結果を活かし、更なる教育活動の充実、教職員の質の向上に努めて参ります。

## 1. 本園の教育目標

- 「4つのやくそく」(いいあたま・やさしいところ・じょうぶなからだ・がまんづよいこ)を基本として教育・保育を実践し、生きる力を育成します。
- 食育の実践を通して、子どもの「食を営む力」の基礎を培います。
- 子どもが健康で安全な園生活を送るために家庭、地域社会との密接な連携を図ります。
- 地域子育て支援に積極的に取り組みます。

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

園児にとって安心・安全な生活になるよう、教職員の連携体制のもと、子どもの主体的な活動を大切にして、園庭・保育室等の環境を整え、遊びやすい配慮や工夫を行う。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	保育の理念	B	必要な法令を理解し、教育要領、保育指針を理解した上で、園の教育理念や教育方針を理解し指導計画を改善していく
2	保育計画	A	具体的なねらいや内容が適切であったかどうか、幼児の活動に沿って必要な援助が行われていたかどうかを振り返り、反省を生かして計画を改善していく
3	保育の在り方・幼児の対応	A	子ども一人一人の理解を深め、幼児の育ちを多面的に捉えるために職員間で意見を出し合い保育内容の見直しを行っていく
4	保育者としての資質と能力	B	保育者が幼児の成長を喜び、一緒に生活を創り出して行く事を楽しいと感じ、意欲や満足して保育に携わっていく
5	地域の自然や社会との関わり	C	安全かつ安心した環境のもとで保育を行う事が出来るように環境をと整え、家庭との連携や地域の連携を図っていく

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

#### 4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	<p>評価項目について取り組んだ結果、個々の子どもの姿を大切にした質の高い教育を行えるように意識し実践しているが、更なる向上を行っていく。</p> <p>職員は研修にも意欲的に参加し学ぶ機会も多くなった。しかしコロナウィルス感染症予防の為制限も多くなり、ウェブ上による研修が多かった。</p> <p>園の保育の現状もHP上に画像配信で公開したが、地域交流等を含め実践できない部分が多かったが、感染予防を踏まえ質の向上を目指して来た。</p> <p>感染症対策を行いながら、行事や教育活動、地域との交流等、子ども達の経験が減少しないように、新しい形での取り組み方を見出して行く。</p>

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

#### 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	法令や理念・教育方針の理解	必要な法令、教育要領、保育指針を定期的に教職員で確認しあい、共通理解できるようにする
2	保育計画の改善	感染予防の観点も踏まえ、保育の質を落とさないように形を変えて計画を立てて行く
3	安全管理	緊急事態発生に備え、バスの安全対策、防犯対策等安全面におけるマニュアルの追加改善を図る
4	幼小接続	幼稚園と小学校の教師が、共に幼児期の終わりまでに育てほしい姿を共有して教育の接続を図る事が出来る機会を持つ
5	地域との関わり	感染症対策を行いながら地域の公園に出かけたり、老人施設に訪問したり、環境と整えて地域と関われる事を増やしていく

## 6. 学校関係者の評価

### 【総 評】

1975年の開園以来、48年間の長きにわたり、職員一同一致団結力を合わせ、地域の教育・保育に貢献している。教育目標を実践し、子ども達を愛し、寄り添い。自己肯定感すなわち、生きる力を育む教育・保育がなされている。

さらに、一人ひとりの育ちを尊重したきめ細やかな教育・保育も実践されている様子は大変素晴らしい。これからも園の職員の成長と子ども達の成長を期待して見守っていききたい。

園児と職員が広い園庭でのびのびと遊んでいる。

職員間の連携を図り、子ども一人一人の理解を深め、園の保育理念や保育計画に基づき創意工夫しながら保育を行っている。

教育水準の向上を目指し、職員が研修会に意欲的に参加したり専門の講師を招き、英語・ダンス・美術の専門的な指導を園児が受けられるのも特色のある教育活動として評価できる。

コロナ過でも それに対応した取り組みを行っているのがうかがえた。行事なども縮小して行ってきたものもあるが、再び保護者や地域の方との活動も増える事を望む。

また、食育の観点から箸の使い方を学ぶ大切な時期、園でも箸をもっと有効に使い食事のマナーなども学んで小学校からの給食へと繋げて欲しい。